

意見公募要領

1 意見募集対象

ASP・SaaS事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン（案）

2 資料入手方法

意見募集対象については、準備が整い次第、電子政府の総合窓口[e-Gov] (<http://www.e-gov.go.jp>) の「パブリックコメント」欄及び総務省ホームページ(<http://www.soumu.go.jp>)の「報道資料」欄に掲載するとともに、連絡先窓口において閲覧に供することとします。

3 意見の提出方法

意見書に氏名及び住所（法人又は団体の場合は、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）、並びに連絡先（電話番号又は電子メールアドレス）を明記の上、意見提出期限までに、次のいずれかの方法により提出してください。

また、提出意見は、日本語で記入し、記入例のように、意見の対象となる項目を明記して下さい。

なお、用紙の設定（大きさ）は、日本工業規格A列4番とし、ページ数が複数の場合はページ番号を付して下さい。（メールも直接意見を書き込む場合を除く。）

(1) 郵送する場合

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2 総務省情報流通行政局情報流通振興課 あて
併せて、意見の内容を保存した磁気ディスクを添えて提出いただくようございます。
その場合の磁気ディスク等の条件は、次のとおりです。

○磁気ディスク：3.5インチ、2HD

光ディスク：コンパクトディスク

光磁気ディスク：MOディスク

○ファイル形式：テキストファイル、マイクロソフト社Wordファイル又はジャストシステム社一太郎ファイル（他のファイル形式とする場合は、担当までお問合せください。）

○磁気・光ディスクには、提出者の氏名、提出日、ファイル名記載のラベルを貼付してください。
なお、送付いただいた磁気・光ディスクは、返却できませんのであらかじめ御了承願います。

(2) FAXを利用する場合

FAX番号：03-5253-5752 総務省情報流通行政局情報流通振興課 あて

※担当に電話連絡後、送付してください。

なお、別途、電子データによる送付をお願いする場合があります。

(3) 電子メールを利用する場合

電子メールアドレス：ryutsu_shinko@ml.soumu.go.jp

総務省情報流通行政局情報流通振興課 あて

※メールに直接意見の内容を書き込むか、添付ファイル（ファイル形式はテキストファイル、マイクロソフトWordファイル又はジャストシステム社一太郎ファイル（他のファイル形式とする場合は、担当までお問合せください。））として提出してください。

なお、電子メールの受取可能最大容量は、5MBとなっていますので、それを超える場合は、ファイルを分割するなどした上で提出してください。

4 意見提出期限

平成21年6月18日(木)午後5時(必着)(ただし、郵送については、平成21年6月18日(木)付けの消印まで有効とします。)

5 留意事項

意見が1000字を超える場合、その内容の要旨を添付してください。

提出されました意見は、電子政府の総合窓口[e-Gov](<http://www.e-gov.go.jp>)の「パブリックコメント欄」に掲載するほか、総務省情報流通行政局情報流通振興課にて配布します。

ご記入いただいた氏名(法人等にあつてはその名称及び代表者名)、住所(所在地)、電話番号、メールアドレスは、提出意見の内容に不明な点があつた場合等の連絡・確認のために利用します。

なお、提出された意見とともに、氏名(名称)やその属性に関する情報は公表する場合があります。公表する場合に匿名を希望される場合には、その旨を記入して下さい。

また、意見に対する個別の回答はいたしかねますので、あらかじめ御了承ください。

意見書

平成 年 月 日

総務省情報流通行政局
情報流通振興課 へ

郵便番号
(ふりがな)
住所
(ふりがな)
氏名(注1)
電話番号
電子メールアドレス

「ASP・SaaS事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン(案)」に関し、別紙(注2)のとおり意見を提出します。

注1 法人又は団体にあつては、その名称及び代表者の氏名を記載することとする。

注2 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。別紙にはページ番号及び項目(例:「1ページ 第1章 本ガイドラインの前提条件及び読み方 1. 1(2) 医療情報取扱におけるASP・SaaSの意義」など)を明記すること。

【記入例】

ページ	項目	意見
P 1	第 1 章 本ガイドライン前提条件及び読み方 1. 1 (2) 医療情報取扱における ASP・SaaS の意義	【案】 今後、より一層の ASP・SaaS の利用が想定される中で、特に ASP・SaaS を活用して医療情報の処理を行う際には、高い安全性と効率化を実現する環境が期待されている。 【意見】